



# 稚の木

平成29年7月3日

朝霞市立朝霞第八小学校

電話：048-465-8381

男子 547名 女子 518名 1065名

【学校教育目標】

かしこく・やさしく・たくましく

## 振り返りを次の活動意欲へつなぐ

校長 鈴木 聡

6月8日（木）から1泊2日の日程で、6年生の修学旅行を実施しました。天候が心配されましたが、計画通りのプログラムを実施することができ、結果的には天気にも恵まれた宿泊学習となりました。陽明門等の大修理が終えて例年より多くの観光客が訪れている東照宮や木道の続く戦場ヶ原を5学級170名の児童が集団で行動するのですから、集団としての規律ある行動が必要です。それは、集団に属しながらも個として周囲への気配りが求められる場でもありません。そうした点ではまだ課題も残りましたが、ガイドさんの説明に熱心に耳を傾けたりグループで支え合いながら散策したりする姿に、6年生らしいたくましさを感じました。最高学年としてこれからの活躍に期待がもてる、価値ある修学旅行となりました。



◆ 本年度の児童会スローガン『【や】優しく【さ】支え合い、【し】失敗を恐れず【い】挑む八小』が、児童集会において代表委員会から全校児童に伝えられました。子どもたちには、自分に挑戦し続けて欲しいと願うばかりです。過日、校長室前のポストに、「家のお風呂掃除をしました。びしょびしょになってしまいました。」という手紙が入っていました。初めての風呂掃除に喜々とチャレンジする子どもの姿とそれを笑顔（少し困り顔？）で支えるご家族を思い浮かべ嬉しくなりました。子どもが育つ場は、学校・家庭・地域等様々あります。その時、その場で、子どもの挑戦を見守り、応援していただければと思います。

1学期もあと3週間足らずとなりました。各学級では1学期の学習のまとめ等の時期となります。いろいろな視点から1学期を振り返り・まとめをしっかりと行って、終業式を迎えられるようにしたいと考えます。さて、ご家庭でもこの時期にお子さんの1学期の様子について話をし、ぜひ振り返ってみてください。ご家庭で話すことによって、子どもたちはもう一度それぞれの場面を思い出すことでしょうか。そして、様々な出来事や体験をできるだけ学びや成長につなげていただければ有り難いです。その時、大人目から見た価値付けが不可欠です。子どもは楽しかった、楽しくなかったという思いを中心に考えてしまいます。でも、大人の客観的な目で、それぞれの中から学びになることを価値付けることで、子どもが意識できるようになります。教師はそうした視点で価値付けを積極的に行っているのですが、子どもたちの全ての活動にはなかなか及びません。ご家庭でもなかなか時間が作れないこともあるかと思いますが、今だからできる親の楽しみの一つとして、お子様と積極的に話をさせていただきたいと思っております。

《通学路変更を検討しています》 児童の登下校の安全確保を図るため、①観音通線工事現場を通るコース（水色）と②エイト紙工さん前を通るコース（ピンク、緑、金）について、保護者と先生の会（地域委員会）と話し合っています。今後の児童増も見据えてしっかり検討してまいります。

